

いまばり夢学校 2007 第1回研修会報告

日時；平成19年6月10日（日）10：00～17：00
場所；今治市民活動センター（別宮町8-1-55）
参加者；学生スタッフ12名

1. プログラムの企画検討の準備

①担当者

4時間にも及ぶ選考会を経て、今年度の3つのプログラムを決めました。これからの時間は、学生スタッフと先生と一緒に具体的なプログラム展開を検討します。

先生を迎える前の時間を利用して、学生スタッフがどのプログラムの検討を担当するかを決めました。有意義な話し合いを進めるために、自分の力が発揮できそうなところをイメージし、分かれました。自分の興味・関心を大切にしつつも、他のメンバーのことを考えて、譲り合った結果、人数や年齢のバランスのとれた担当が決まりました。



②選考の振り返り

これから企画する3つのプログラムの目的を確認しました。「企画への参画度が高い」、「日常生活の中で感じる課題について考えることができる」、「子ども達と双方向で学ぶことができる」など、いくつかのポイントを振り返りました。



2. プログラムの企画検討

①担当者の紹介と提案要素の振り返り

企画担当者となった学生スタッフと先生が同じテーブルで向き合いました。自己紹介を進めながら、改めてプログラム提案の思いや実現したい目標などを共有しました。自らが選び、自らが担当したいと願ったプログラムだけに、学生スタッフのプログラムへの期待は大きく、提案者である先生たちに真剣な眼差しで質問する姿が見られました。



②本時の到達目標の確認

「こんなことをしたい」と、学生スタッフからたくさんのアイデアがあがっています。これから募集する小学校3年生から6年生の子ども達にとって魅力的で、彼らが「参加したい」と思うこと、保護者の皆さんが「応援したい」と思うことが重要です。企画検討が効率的に進むよう、配慮するポイントを全体で共有しました。

●子ども達向けの「タイトル」になっているか確認しよう！

- *今のタイトルで、子ども達に響く？
- *内容が伝わるタイトルになっている？

●いつ、どこで、どんなことをするのか具体的にしよう！

●先生、スタッフ、生徒の担当や役割を決めよう！

●必要な資源を考え、「あるもの」「ないもの」を整理しよう！

●子ども達にとって魅力的かどうかを、もう一度考えよう！

- *参加度は高いの？
- *体力や知力を考えてる？

子ども達にとって魅力的なプログラム

- みんなでできるプログラム
- みんなが仲良くなれるプログラム
- みんなが協力できるプログラム
そのためにグループを進める形式があればいい！
- 子ども達に分かりやすいプログラム
小学校3年生にとっても分かりやすいものがある！
- 一方的に教えられるプログラムではなく、
学びあいがあるプログラム
- 新しい発見があるプログラム
- 今治市の子ども達が興味を持つプログラム
興味は人それぞれ。どうやって確認するの？！
- 「夢」のあるプログラム

③プログラムの具体的な企画

募集の対象である子ども達や保護者を意識し、ワークシートに添って、企画を進めました。

- | | | |
|------------------|----|-----------------------------|
| (食品を選ぶとき、確認すること) | ▶▶ | (いまばり夢学校で言うとき…) |
| ●品質・鮮度・産地 | | ●内容、プログラムを通して得られるものが充実しているか |
| ●会社・生産者・販売店 | | ●誰がどんなふう立案した企画か |
| ●値段 | | ●提供するものと参加費のバランスはいいか |

◆検討の様子◆ → ◆ポイント再確認◆ → ◆発表◆

(ライフサポート ここはうす)



(みかんトリオ)



(できかけ教室)



選考ポイント

- ★子ども達にとって魅力的なプログラム
- ★夢学校でしかできないプログラム
- ★よきパートナーであり、一緒に企画づくりができる団体

- ・ ずれていませんか？
- ・ 忘れていませんか？
- ・ 違っていませんか？



- ・ キャッチフレーズ
- ・ 全体像がわかる約 300 字の文章
- ・ プログラムを通しての目標
(ここまで伝えたい、感じて欲しい)
- ・ 日時、場所
- ・ 当日のスケジュール
- ・ 先生の紹介
を発表しました。

大島ゆめゆめキャンプ

one for all all for one

一人はみんなのために みんなは一人のために

小学生30人 + staff + 吉井先生 @ 大島 一泊二日の autumn camp!

船に揺られて大島到着。自分の力でバスに乗りキャンプ場へ。“ドキドキ ワクワク” 最高の一泊二日スタート。今回のキャンプは、大島育ち、熱いハートの持ち主 吉井先生の下、ある物を創作。キャンプ場内の様々な大きさの石にペインティング!!何を描くかは秘密。それは当日のお楽しみ。30人 + staff 全員が協力し、2日間の完成へと目指す。夜はキャンプファイヤーに、たきぎ風呂・・・。

最高の2007・秋を大島で過ごそうぜ “♪”

いつ

10月13日(土)・14日(日)

どこで

できかけ教室(大島)

目標

- ①表現の自由
自分の思いを言葉やリアクションにあらわす
- ②協力
みんなで協力して、全体で何かをなしとげる

タイムスケジュール

時間	内容	備考
13日 13:00	今治港集合 フェリーで大島へ	○島までの移動は再度、検討 公共の路線バスを使うの?歩くの?歩いて15分 「しまなみ海道」を自転車でというアイデアも出たが、自転車に乗ることができない人もいるからという理由でNG。
13:30	「できかけ教室」到着 テント設営 オリエンテーション	
14:30	制作「石にアート」	* 献立のアイデア求む ○10人くらいが一度に入浴可
17:30	夕食準備 交代でお風呂	
19:00	夕食	
20:00	キャンプファイヤー たるのお風呂	* キャンプファイヤーの時のアイデア求む
	夜はほぼ自由	○「敷地内から出ない」など、やっていいことと悪いことはある。 周りの様子をみながら判断する「団体行動」 これが「テーマ」にも大きく関係している。
14日 7:00	起床・朝食準備	* 献立のアイデア求む
8:00	朝食	
9:00	制作	* 献立のアイデア求む
11:00	昼食準備	
12:00	昼食	
13:30	「できかけ教室」出発	
14:30	今治港到着 解散	

お坊さんになろう ～心で学ぶ“癒し”の道のプレゼント～

お坊さんの話を通して、お遍路さんに理解を深める。また、お接待の時に渡すしおりやエコバッグを製作。実際にお接待をして癒しの心を学んでもらいたい。
 お昼からはお経をよんだり、めい想をして、お寺の文化を学ぼう！
 最後は掃除をして感謝の気持ちを表そう。

いつ

11月10日(土)・11日(日)

どこで

高野山今治別院・南光坊

目標

- ①お接待を通して、優しい心を知る。
- ②四国遍路を体で感じる。
- ③常に活動の目的を忘れない。

タイムスケジュール

時間	内容	備考
10日		
8:30	スタッフ集合 準備	・事前準備
9:15	生徒受付 グルーピング	・5つのグループに分かれる
9:30	うどんづくり説明	
9:45	道具・具材の準備	・道具を準備し、小口ねぎ、ちくわ、かまぼこなどを切る。
10:10	お接待の仕込み①	・粉を網でふるう→食塩水を入れてもむ→こねる→ねかせる
11:10	今日、食べるうどん準備 (先生の仕込んだもので)	・のばす→切る→ゆでる→あらう→個々でどんぶりへ →あたためる→だしを入れる→具材をのせる
12:00	食べる	
13:00	お接待の仕込み② (自分の仕込んだもので)	・のばす→切る
14:30	片付け	
15:00	意見交換	
15:30	解散	
11日		
8:00	スタッフ集合	
8:30	全員集合	
8:45	お話	○お遍路さんや仏教の話聞く。
9:00	しおり、エコバッグ作り 又はうどんづくり	○しおり、エコバッグのどちらかを選択。 2つ作って、一つはお接待用、一つは自分用 しおりに書く言葉は子ども達が自由に
10:30	お接待 又はお経を唱える (お遍路さん体験)	●スタッフの役割：グループに分かれた子ども達の支援 (うどんについて) ゆでたタマを、10秒くらい湯通し→だしをかける→トッピング
12:00	昼食(うどん)	
13:00	護庫	●スタッフの役割：お寺なので静かにさせる
13:40	めい想 休憩	
14:30	お掃除(ぞうきんレース)	*その他、落ち葉でやきいも、かねをつくというアイデアも
15:00	最後の話し合い	
15:30	解散	

事前に必要なこと

- パステルを学ぶ

先生の紹介

みかんトリオのお坊さん達は、私たちに癒しの心を教えてくれる人たちです。一緒にお寺でいろいろ学んでいこう。

みんなちがってみんないい ～見て！聞いて！自閉症を体験しよう！！～

午前中に、自閉症の人が感じていることを疑似体験して、その体験の感想を、自分のコトバで話すことによって、自閉症のことを理解する。

午後からは、自閉症の子ども達と対面し、ハンバーガーと一緒に食べて交流を深める。自閉症の子ども達から何かを得て、双方に学ぶことができる。

さいごに、みんなちがってみんないいの精神を身につける。

いつ

12月9日（日）

どこで

テクスポート今治→グランフジ
→おんまや公園

目標

- ①子ども達に、相手の視点に立って考えることを学んでもらう。
- ②自閉症の人が感じていることを共に感じてほしい。
- ③“みんなちがってみんないい”の精神を身につけてもらう。

タイムスケジュール

時間	内容	備考
10:00	説明会	○スタッフが疑似体験の説明をする。
10:30	体験コーナー 6人×5グループ	○手先が不器用になる体験 音楽が流れる中で問題をとく聴覚の体験 視野が狭くなる眼鏡をかける視覚の体験 絵がある場合とない場合の違いを感じる伝言ゲーム
12:00	昼食（持参）	●スタッフの役割：この後の感想発表に向け、発表の準備を支援 質問の仕方、雰囲気作りを！
13:00	感想を話してもらう	
13:40	お助けグッズの紹介	
14:20	自閉症の子ども達と対面 質問タイム	○事前にプロフィールを作成してもらっておく。理解しておく。
14:50	ハンバーガー店へ行き、 食べる おんまや公園へ歩いて行く おんまや公園で遊ぶ テクスポートへ歩いて戻る	
16:10	自閉症の子ども達の お母さんに対面	
16:30	まとめ	
17:00	解散	

事前に必要なこと

- 疑似体験をしておく
- ハンバーガーを買う時のカードをつくる

④いまばり夢学校 2007 のコンセプトづくり

各プログラムの目標や大まかな内容が決まり、全体で共有されました。目指す方向性が違う面があるだけに、多面的に学ぶことができる魅力を感じました。3つのプログラム全てに参加することを通して、子ども達や実行委員・スタッフ、また提供者である団体の皆さんに、どんな学びがあるのでしょうか。みんなでイメージを膨らませ、キーワードを出し合いました。

- ・一石二鳥
- ・ Surprise
- ・新しい自分へ
- ・意欲
- ・一期一会
- ・独立
- ・起死回生
- ・夢
- ・どん欲 あれもこれもでいいんじゃない
- ・めざめる一日！
- ・優しさ
- ・発見
- ・協力

3. 広報の準備

①募集のためのメディアの役割

- 対象の人が「申し込む」（行動をおこす）ことが目的。

企画内容を簡潔に伝える準備をすることが、「自己満足」の広報にならないために必要。

*チラシにのせる「言葉を選ぶ」 → 視覚に訴える

*ラジオ番組の「原稿を書く」 → 聴覚に訴える

- 対象を意識することが大事。

*子ども向けのチラシなので、漢字の量を少なくしたり、ふりがなをつけたりする。

②広報メディア制作への意見

- スタッフのプロフィールを入れたい。
- 顔写真を入れると安心する。
- スタッフの興味があることや、特技を紹介すれば、子ども達に響くかもしれない。
- リンクマップを載せてはどうか。

6月17日について

※チラシづくりの素材を集めておく。

※参考になるペーパーを持参する。

※スケッチブック、マーカーを準備する。

※デジタルカメラを準備する。